学校番号	3027

令和８年度　地歴公民科

教科	地理歴史	科目	世界史演習	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	自主教材						
副教材等	704　詳説世界史（山川）、アカデミア世界史（浜島書店）、ウイニングコンパス世界史の整理と演習 2026（東京法令）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史の知識を得るだけではなく、歴史事象に対して、自ら考え協働して活動することを行います。
・学んだ知識、自らで調べた内容などから歴史的思考を使って考え、表現をしてもらいます。
・グループワークやプレゼンテーションでの発表、ジグソー法による授業を行います。
・ノートは板書を書き写すだけではなく、ポイントをまとめたり、コメントを書いたりして理解を深めるようにしましょう。
・単元ごとに確認小テストを行います。積み重ねが大切です。がんばりましょう。

2　学習の到達目標

歴史総合、世界史探究で学んだ知識を応用する力を高めるとともに、歴史的事象についての論述力を養うことをめざす。歴史的な見方・考え方を働かせながら、日本史や地理との関連についての理解を深め、国際的な視野を広げるため次の資質・能力を育成することをめざす。

【知識及び技能】

これまで身につけた知識を活用しながら、諸資料を適切に読み取り、歴史的事象の理解を深めるとともに、他の歴史的事象との関連付けを行い、知識を応用する力を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】

資料や文献等を使用し、歴史的事象を多面的・多角的な観点から考える歴史的思考力を身に付け、歴史事象の客観的な立場や自らの考えを適切に文章にまとめ、表現する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】

現代の歴史に関わる諸事象を自らの生活との関連において構想し、多面的・多角的に考察をすること態度を養い、世界の文化や歴史についての理解を深めるとともに、我が国の文化や歴史を尊重することの大切さを自覚する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	これまで身につけた知識を活用しながら、諸資料を適切に読み取り、歴史的事象の理解を深めるとともに、他の歴史的事象との関連付けを行い、知識を応用する力を身に付けている。	資料や文献等を使用し、歴史的事象を多面的・多角的な観点から考える歴史的思考力を身につけ、歴史事象の客観的な立場や自らの考えを適切に文章にまとめ、表現している。	現代の歴史に関わる諸事象を自らの生活との関連において構想し、多面的・多角的に考察しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	世界史のまなざし	1. 地球環境から見る人類の歴史	a: 人類の誕生と地球規模での拡散・移動を基に、人類の歴史と地球環境との関わりを理解できる。 b：身の回りの諸事象と世界の歴史との関連性を考察し、表現できる。 c：ノートに授業中の解説メモや図解など創意工夫が見られる。	考査	論述演習 ワークシート提出	提出ノート
		2. 日常生活から見る世界の歴史	a：衣食住、家族、教育、余暇などの身の回りの諸事象を基に、私たちの日常生活が世界の歴史とつながっていることを理解できる。 b: 地球の歴史における人類の歴史の位置と人類の特性を考察し、表現することができる。 c:ノートに授業中の解説メモや図解など創意工夫が見られる。	考査	ワークシート	提出ノート

	諸地域の歴史的特質の形成	1. 諸地域の歴史的特質への問い	a: 生業、身分・階級、王権、宗教、文化・思想などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりすることができる。 b: 文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現することができる。 c:ノートに授業中の解説メモやの図解など創意工夫が見られる。	考査	論述演習 ワークシート	提出ノート
		2. 古代文明の歴史的特質	a：古代文明の歴史的特質を理解することができる。 b：古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c:ノートに授業中の解説メモや図解など創意工夫が見られる。	考査	ワークシート	提出ノート

		3. 諸地域の歴史的特質	a:東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解することができる。仏教の成立とヒンドゥー教、南アジアと東南アジアの諸国家などを基に、南アジアと東南アジアの歴史的特質を理解している。西アジアと地中海周辺の諸国家、キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などを基に、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解している。 b:唐の統治体制と社会や文化の特色、唐と近隣諸国との関係、遊牧民の社会の特徴と周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現できる。南アジアと東南アジアにおける宗教や文化の特色、東南アジアと周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 西アジアと地中海周辺の諸国家の社会や文化の特色、キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c:ノートに授業中の解説メモや図解など創意工夫が見られる。	考査	論述演習 ワークシート	提出ノート
2	諸地域の交流・再編	1. 諸地域の交流・再編への問い	a:資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けている。 b:諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現することができる。 c:ノートに授業中の解説メモや図解など創意工夫が見られる。	考査	論述演習	提出ノート

		2. 結び付くユーラシアと諸地域	a:西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播、ヨーロッパ封建社会とその展開、宋の社会とモンゴル帝国の拡大などを基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。アジア海域での交易の興隆、明と日本・朝鮮の動向、スペインとポルトガルの活動などを基に、諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解している。 b:諸地域へのイスラームの拡大の要因、ヨーロッパの社会や文化の特色、中国社会の特徴やモンゴル帝国が果たした役割などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。アジア海域での交易の特徴、ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c:ノートに授業中の解説メモや図解など創意工夫が見られる。	考査	論述演習 ワークシート	提出ノート

		3. アジア諸地域とヨーロッパの再編	a:西アジアや南アジアの諸帝国などの動向を基に、アジア諸地域の特質を構造的に理解している。宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争などを基に、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解している。 b:諸帝国の統治の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。宗教改革の意義などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c:ノートに授業中の解説メモや図解など創意工夫が見られる。	考査	論述演習	提出ノート
	諸地域の結合・変容	1. 諸地域の結合・変容への問い	a:資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けてる。 b:諸地域の結合・変容に関わる諸事象の背景や原因などに着目し、諸地域の結合・変容を読み解く観点を考察し、問いを表現することができる。 c:ノートに授業中の解説メモや煩雑な情報の図解など創意工夫が見られる。	考査	論述演習 ワークシート	提出ノート
		2. 世界市場の形成と諸地域の結合	a:産業革命と環大西洋革命などを基に、国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解すること。国際的な分業体制と労働力の移動などを基に、世界市場の形成とアジア諸国の変容を構造的に理解している。 b:産業革命や環大西洋革命の意味や意義などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。労働力の移動を促す要因などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c:ノートに授業中の解説メモや図解など創意工夫が見られる。	考査	論述演習 ワークシート	提出ノート

		3. 帝国主義とナショナリズムの高揚	a:第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争などを基に、世界分割の進展とナショナリズムの高まりを構造的に理解している。第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成などを基に、第一次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。 b:世界経済の構造的な変化などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。第一次世界大戦後の国際協調主義の性格などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c:ノートに授業中の解説メモや図解など創意工夫が見られる。	考査	ワークシート	提出ノート
		4. 第二次世界大戦と諸地域の変容	a:世界恐慌とファシズムの動向、ヴェルサイユ・ワシントン体制の動揺などを基に、国際関係の緊張と対立を構造的に理解している。第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序、冷戦とアジア諸国の独立の始まりなどを基に、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。 b:世界恐慌に対する諸国家の対応策の共通点と相違点、ファシズムの特徴などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。第二次世界大戦中の連合国による戦後構想と大戦後の国際秩序との関連、アジア諸国の独立の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察し、表現するこができる。 c:ノートに授業中の解説メモや図解など創意工夫が見られる。	考査	論述演習	提出ノート

3	地球世界の課題	1. 国際機構の形成と平和への模索	a:集団安全保障と冷戦の展開、アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動きなどを基に、紛争解決の取組と課題を理解している。 b:国際連盟と国際連合との共通点と相違点、冷戦下の紛争解決と冷戦後の紛争解決との共通点と相違点などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c:ノートに授業中の解説メモや図解など創意工夫が見られる。	考査	論述演習	提出ノート
		2. 経済のグローバル化と格差の是正	a:先進国の経済成長と南北問題、アメリカ合衆国の覇権の動揺、資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換、アジア・ラテンアメリカ諸国の経済成長と南南問題、経済のグローバル化などを基に、格差是正の取組と課題を理解している。 b:先進国による経済援助や経済の成長が見られた地域の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c:ノートに授業中の解説メモや図解など創意工夫が見られる。	考査	ワークシート	提出ノート
		3. 科学技術の高度化と知識基盤社会	a:原子力の利用や宇宙探査などの科学技術などを基に、知識基盤社会の展開と課題を理解している。 b:現代の科学技術や文化の歴史的な特色などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c:ノートに授業中の解説メモや図解など創意工夫が見られる。	考査	ワークシート	提出ノート
		4. 地球世界の課題の探究	a:歴史的経緯を踏まえて、地球世界の課題を理解している。 b:地球世界の課題の形成に関わる世界の歴史について多面的・多角的に考察、構想し、表現することができる。 c:ノートに授業中の解説メモや図解など創意工夫が見られる。	考査	論述演習 ワークシート	提出ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度